

滋賀で家族になろう推進事業

現状と課題

- 出会いの機会の減少 ⇒ 出会いの機会創出のための仕組みづくりが必要
- 結婚への希望を持っているが、一歩踏み出せない方への後押し ⇒ 市町や企業・団体等の支援情報の一元化した発信
⇒ ネットワークの拡大による機運醸成 が必要

希望する人が結婚できるよう、社会全体で応援！



目的

ネットワークづくり

機運の醸成、市町・企業・団体との協働

しが出会いサポート地域連携推進事業

- オンライン型「しが・めぐりあいサポートセンター『しが結』」の運営
- AI等を活用したマッチングシステムを活用した会員の婚活サポート

- ★結婚を希望する独身の方で概ね50歳までの方を対象に、会員制で運用する。
- ★県内市町や企業に対して結婚支援の取り組み促進を働きかけるため、結婚支援コンシェルジュを配置する。
- ★マッチングシステムを活用した1対1の出会いの機会創出だけでなく、婚活イベントの開催等により様々な出会いの機会の提供を図る。

⇒ 当事業の市町や企業・団体との連携については別紙参照

あいはぐプロジェクト応援団事業

●ネットワークづくりの推進

- ★ネットワーク研修会・意見交換会の開催
- ★若者の出会いの場づくりを応援する企業・団体等のネットワークへの参画呼びかけ：
R4末現在 41企業・団体が参画

●婚活応援情報の推進

- ★あいはぐプロジェクト応援団HPでの「婚活イベント情報」「結婚支援員等による婚活コラム」等の結婚応援情報発信

●結婚を希望する方の後押しとなる情報発信

- ★「滋賀★花嫁応援割」および「滋賀★プロポーズ応援」等、結婚を希望する方の後押しとなる情報をSNS広告等を活用して発信する。

令和5年度しが出会いサポート地域連携推進事業

結婚を希望している方の出会いの機会を創出

AIマッチングシステムを活用した結婚サポート体制を整備！

背景 未婚率の上昇と晩婚化・晩産化の進行

- ・未婚者(18歳～34歳)の結婚意思は、男女とも8割以上
- ・独身でいる理由は男女(25～34歳の未婚者)とも「適当な相手にめぐりあわない」
が最も多く4割程度。(国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」)
- ・感染拡大前に比べ、出会いの機会が約3割減少
(『新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査』(2021年6月内閣府))

『結婚をしたい』という希望を
叶えるための支援が必要！！

オンライン型結婚支援センター 『しが  めぐりあいサポートセンター』

①マッチング支援

- ・マッチングシステムの運用
- ・コーディネーターがオンライン上で結婚を希望する人からの相談受付、マッチングから成婚までのフォロー

②担い手・人材育成

- ・結婚相談員の育成研修の実施

③イベント・セミナーの開催

- ・婚活イベントや婚活に役立つセミナーの開催

④情報発信

- ・マッチングシステム登録会員募集(HP、SNS)
- ・結婚支援コンシェルジュによる結婚支援の取組み参画への働きかけ・
情報提供(対市町、企業・団体)

市町や企業・団体
との連携促進

「滋賀で結婚をしたい！」
希望が叶う滋賀県の実現

期待できる効果

- 若い世代の地域への定着
- 他府県からの移住促進
- 滋賀県の活性化！



市町や企業・団体の連携取組内容

①マッチング支援

- ・結婚相談員がいる市町においては、
マッチングシステムも活用したフォロー
を実施

②担い手・人材育成

- ・結婚相談員の地区研修会の開催
- ・結婚相談員の掘起し

③イベント・セミナーの開催

- ・結婚相談員と連携した婚活イベント等
の実施

④情報発信

- ・出張登録・相談会の主催・共催
- ・結婚支援コンシェルジュによる訪問